

2021年7月29日

退任に向けてのご挨拶

株式会社 旅籠屋 代表取締役 甲斐 真

別途お知らせいたしましたとおり、私は9月17日開催予定の第27期定時株主総会に諮る取締役選任候補者に加わらず、総会時をもって任期満了により退任することといたしました。

創業者として会社設立以来27年にわたり代表取締役を務めてまいりましたので、一部に驚きや不安を感じられる方もいらっしゃるかもしれません。憶測や風評によって無用な誤解が生じることのないよう、以下に退任の理由や背景について、率直にご説明させていただきたく存じます。

退任はそもそも6年以上前から考えていたことですが、後継体制を模索するなかで時が過ぎてしまいました。最終的に昨年の10月に思いを定め、一部の方に意向を伝え、3月には社内での発表を済ませております。

退任の理由は、気力体力の衰えを感じるようになったこと、70歳を目前に会社経営の重責から離れて自分や家族との生活に専念したいと考えたことに尽きます。それ以外の特別の事情や問題はございません。

昨年からのコロナ禍で「こんな時に？」という迷いもありましたが、ようやく業績の回復も見通せるようになり、資金面でも会社存続の不安がなくなってきたことから、潮時と考えました。会長、相談役、顧問という形で残るといった選択肢も思い浮かびましたが、中途半端は避けたいので、完全に離れます。

思い返せば1994年の1月、初めてアメリカのMOTELを泊まり歩き、「こうした宿を日本にも展開させることによって、日本人に欠けている自由で自立した旅や社会につなげていけるのではないか」と思い立ってから27年以上が経ちました。少しずつ店舗も増え、延べ520万人を超える方々にご利用いただき、「自由で自立した旅や社会を支えるインフラとしての宿泊施設の全国展開」という創業目的のひとつは、確かに実現されつつあると実感しております。また、透明で隠し事のない公明な経営、既成の価値観にとらわれず合理性を求める公正なベンチャー精神、公益性を重視する社会的企業としての姿勢についても、創業時の志を曲げず失わずに貫いて来られたことを誇りに感じております。

これまでほんとうにたくさんの方々に支えられ、助けていただきました。創業当初を含め未熟な弊社にお付き合いいただいてきた取引企業の皆さん、1999年の暮れにグリーンシートに登録して公募増資を行った際に出資いただいた200名を超える個人投資家の方々、そして、日々現場で店舗を守り続けてきた店舗支配人に対しては、心からの敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。たくさん素晴らしい人たちと出会うことができました。ほんとうにありがとうございました。

株主総会で承認されれば、吉井・小島・参上の3名が取締役として今後の弊社の経営を担うこととなります。これは、外部との提携などは行わず、自力で進んでいくことができるという事業判断の結果でもあります。入社から約半年の吉井が取締役候補に加わっていることを意外に感じられる方もいらっしゃると思いますが、能力資質や意欲を総合的に熟慮した結果でございます。これから2ヶ月足らずですが、スムーズに事業承継が進むよう全力で引継ぎ作業を進めてまいります。

これまで支えていただいた社内外の皆さんに十分な恩返しもできないままになることが申し訳なく、心残りではありますが、後継の者たちが創業の理念と志を守り育てていくものと信じております。

どうぞ、今後とも株式会社 旅籠屋 へ変わらぬご厚情を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以上